



## R コマンド

---

この章では、R で始まる Cisco NX-OS Routing Information Protocol (RIP) コマンドについて説明します。

# redistribute (RIP)

別のルーティング ドメインからのルートを Routing Information Protocol (RIP) に再配布するには、**redistribute** コマンドを使用します。ルートの再配布をしないデフォルトの状態にシステムを戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**redistribute** {**bgp** *id* | **direct** | **eigrp** *id* | **ospf** *id* | **static**} **route-map** *map-name*

## 構文の説明

|                                  |  |
|----------------------------------|--|
| <b>bgp</b> <i>id</i>             | ボーダー ゲートウェイ プロトコル (BGP) からのルートを再配布します。<br><i>id</i> は、自律システム番号です。2 バイト番号の範囲は 1 ~ 65535 です。4 バイト番号の範囲は 1.0 ~ 65535.65535 です。            |
| <b>direct</b>                    | 直接接続されたルートだけからのルートを再配布します。   |
| <b>eigrp</b> <i>id</i>           | Enhanced GRP (EIGRP) からのルートを再配布します。 <i>id</i> は、ルートが再配布される EIGRP インスタンス名です。値は文字列の形式を取ります。10 進数を入力できますが、Cisco NX-OS はこれを文字列として内部に保存します。 |
| <b>ospf</b> <i>id</i>            | OSPF プロトコルからのルートを再配布します。 <i>id</i> は、ルートが再配布される OSPF インスタンス名です。値は文字列の形式を取ります。10 進数を入力できますが、ストリングとして内部に格納されます。                          |
| <b>static</b>                    | IP スタティック ルートからのルートを再配布します。  |
| <b>route-map</b> <i>map-name</i> | ルート マップを関連付けて RIP の再配布ポリシーを設定します。  |

## コマンド デフォルト

ルートの再配布はディセーブルです。

## コマンド モード

ルータ アドレス ファミリ コンフィギュレーション モード

## コマンド履歴

| リリース        | 変更内容            |
|-------------|-----------------|
| 5.0(3)N1(1) | このコマンドが追加されました。 |

## 使用上のガイドライン

Cisco NX-OS は、ルート マップを使用して再配布のルーティング情報をフィルタリングします。ルート マップには再配布ルートに使用される RIP メトリックを設定できます。RIP メトリックをルート マップで指定しなかった場合、Cisco NX-OS は再配布されるプロトコルまたは **default-metric** コマンドに基づいてメトリックを決定します。有効なメトリックを決定できない場合、Cisco NX-OS はルートを再配布しません。

## 例

次に、BGP ルートを RIP プロセスに再配布する例を示します。

```
switch(config)# router rip Enterprise
switch(config-router)# address-family ipv4 unicast
switch(config-router-af)# redistribute bgp 64496
switch(config-router-af)#
```

## 関連コマンド

| コマンド                                 | 説明   |
|--------------------------------------|--|
| <b>address-family</b>                | アドレスファミリー コンフィギュレーション モードに入ります。              |
| <b>default-information originate</b> | RIP に再配布されるルートのデフォルト ルートを生成します。              |
| <b>default-metric</b>                | 他のプロトコルから RIP に再配布されるルートのデフォルト メトリック値を設定します。 |
| <b>show ip rip</b>                   | すべての RIP インスタンスの RIP 要約情報を表示します。             |

# restart (RIP)

Routing Information Protocol (RIP) インスタンスを再起動し、関連付けられたすべてのネイバーを削除するには、**restart** コマンドを使用します。

**restart eigrp instance-tag**

## 構文の説明

|                     |  |
|---------------------|--|
| <i>instance-tag</i> | RIP ルーティング インスタンスの名前。この名前には、最大 20 文字の英数字を指定できます。 |
|---------------------|--|

## コマンド デフォルト

なし

## コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション モード

## コマンド履歴

| リリース        | 変更内容            |
|-------------|-----------------|
| 5.0(3)N1(1) | このコマンドが追加されました。 |

## 使用上のガイドライン

このコマンドには、LAN Base Services ライセンスが必要です。

## 例

次に、RIP インスタンスを再起動し、すべてのネイバーを削除する例を示します。

```
switch(config)# restart rip Enterprise
switch(config)#
```

## 関連コマンド

| コマンド                                      | 説明  |
|---|---|
| <b>copy running-config startup-config</b> | コンフィギュレーションをスタートアップ コンフィギュレーション ファイルに保存します。 |
| <b>show ip eigrp interfaces</b>           | EIGRP インターフェイスに関する情報を表示します。                 |

# router rip

Routing Information Protocol (RIP) ルーティング プロセスを設定するには、**router rip** コマンドを使用します。RIP ルーティング プロセスをオフにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
router rip instance-tag
```

```
no router rip
```

## 構文の説明

|                     |                  |
|---------------------|------------------|
| <i>instance-tag</i> | この RIP インスタンスの名前 |
|---------------------|------------------|

## コマンド デフォルト

RIP ルーティング プロセスは定義されていません。

## コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション モード

## コマンド履歴

| リリース        | 変更内容            |
|-------------|-----------------|
| 5.0(3)N1(1) | このコマンドが追加されました。 |

## 例

次に、RIP ルーティング プロセスを開始する例を示します。

```
switch(config)# router rip Enterprise
```

## 関連コマンド

| コマンド                 | 説明                          |
|----------------------|-----------------------------|
| <b>ip router rip</b> | インターフェイスの RIP インスタンスを定義します。 |

■ router rip